

## KT トラスと空間構造デバイス<sup>\*1</sup>

木下 陵二<sup>\*2</sup> 森田 時雄<sup>\*3</sup> 今井 克彦<sup>\*4</sup>

### System Truss and Structural Devices for Architecture

Ryoji Kinoshita Tokio Morita Katsuhiko Imai

#### 1 はじめに

システムトラス構造においては部材と中核ノードの接合方法がき

よび施工性に優れた接合部を開発し、多くの実績を重ねてきた。この接合部の設計・製造の技術を活かし、KT トラスシステムの範囲拡大を図るとともに、システムトラスに組み込み可能な多くの構造用デバイスを開発した。これらのデバイスはシステムトラスばかりで

\*1 建築学雑誌 1997年 11月号 10-15頁  
\*2 建築学雑誌 1997年 11月号 10-15頁  
\*3 建築学雑誌 1997年 11月号 10-15頁  
\*4 建築学雑誌 1997年 11月号 10-15頁



- 2) 吉永光寿, 森田時雄, 木下陵二, 今井克彦: 「二重管 FLD 部材の繰返し載荷実験-軸力管にシームレス鋼管 (SS400 キロ級) を使用した場合」, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (1998)
- 4) 今井克彦, 木下陵二, 辻岡静雄, 古川忠稔: 「システムトラスの球継手の疲労強度改善に関する研究」, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (1998)

に軸力が作用する単層構造用剛接ジョイントの曲げ実験について」, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (1996)9, 1090-1092

た制震ダンパーの構造性能」, 30(1998)1, 1-6